

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	43 (16)	①認知症の進行及び身体状況の悪化と共に介護度が重症化し要介護4以上の入居者が8名生活している。 ②職員の安全衛生(腰痛予防)の観点から正寿の光では人力での持ち上げ介護は実施していない。立位の困難な方は床走行リフトを使って、便座への移乗を実施している。 ③さくらユニットでは、要介護5の利用者2名をいつの間にかトイレ介助をしなくなっていた。現場から声が上がり6月14日からリフトを使っのトイレ介助を再開した。	目標:「プライバシーに配慮した気持ちの良い排泄ケアが出来る。」 正寿の光では、気持ち良く目覚め、美味しくご飯を食べて、気持ち良く排泄して頂き「こなら安心して生活して行ける。」と思っていただけの支援を提供していく。 要介護状態が進んでも「トイレに座る事」これが排泄に対する、自立支援の第1歩である事を忘れない。	①朝食後、昼食後に床走行リフトを使用して便座への移乗介助を行う。 ②排泄に関する勉強会を実施する。 ③定期カンファレンスに置いて実践状況をモニタリングする。	1ヶ月
2	40 (15)	①嚥下状態が悪く誤嚥のリスクが高い入居者が3名生活している。 ②食の楽しみを考えると見た目でも食べる事が出来るソフト食を提供することが望ましいが、安易なミキサー食になりやすい現状である。	目標:食材を活かした楽しみのある食事を食べていただく。見栄え良く口の中でつぶせるように柔らかくする。	①同じ料理でも、軟らかく煮て、とろみをつけるなど工夫を行う。 ②食材の本来の味を楽しめる工夫を行う。 ③見た目でも美味しく盛り付けを行う。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。